

『学ぼう！にほんご 中上級』

11版・12版 変更箇所

専門教育出版

[第2課]

P23 読んでみよう 20行目～

「高齢化による影響としては、」から「必要なのかもしれない。」まで

↓

「少子高齢化は国の財政を悪くする原因の一つでもある。少子高齢化が進むと国の収入に対して、年金などの社会保障費が大きく増えるためだ。さらに、経済は悪くなり、国の税収入が減りやすくなる。物やサービスを買う消費行動は、経済を活性化させる原動力となるが、大多数の高齢者は年金や貯蓄を切り崩して生活しており、消費行動をあまりとらないからだ。国の財政が厳しくなると、公共サービスなど社会資本へお金をかけることが難しくなり、生活環境が悪くなる恐れがある。

少子高齢化への対策として、高齢者の最大の不安とされてきた介護については、介護保険法が実施され、保険料を財源に訪問介護や介護老人福祉施設の利用など福祉サービスの形で再配分されるようになった。また、少子化の進行を食い止めるための対策としては、各自治体が女性にとって安心して出産や育児ができる環境を整備したり、仕事を持っている女性向けに子育てと仕事の両立ができるようなサービスを提供したりすることにより、女性の社会進出が出産・育児の妨げとまらないような仕組みづくりが進められている。

だが、このような様々な制度や対策がとられているとはいえ、少子高齢化、特に少子化は一向に止まる気配はない。制度や対策だけでは、若者の意識や生活スタイルを簡単に変えることはできないであろう。それならば、人口減少の中でも発展できる新しい社会システムを構築したり移民希望者を積極的に引き受けたりと、柔軟な姿勢が必要なかもしれない。」に変更

P23 長文の新出語彙

「自主性」から「再配分」まで

↓

「自主性 財政 年金 サービス 消費 活発
化 原動力 大多数 貯蓄 切り崩す 厳し
い 資本 最大 介護保険法 実施 財源
再配分」の順番に変更